

歴史と哲学の県立熊谷図書館 =資料案内=

Lib. Letter

2006 spring [3~5月] 季刊

平成18年3月1日 通巻 第4号

編集・発行 埼玉県立熊谷図書館

<http://www.lib.pref.saitama.jp/> Tel 048-523-6291

江戸の読書事情

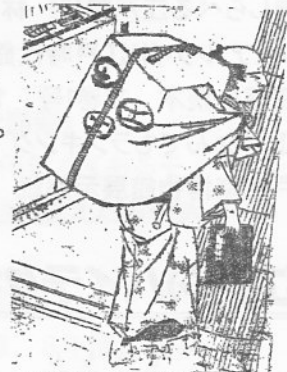


◎ 江戸の出版

江戸時代の書籍目録に記載された出版点数は、寛文11(1671)年に3,900点、元禄9(1698)年には7,800点にのぼっていたことがわかります。これは現在の年間新刊出版点数70,000点と比べればはるかに及びませんが、なかなかの数と思えます。

◎ 貸本屋の活躍

当時書物は 高価*注1 だったので、庶民には手の届きにくいものでした。そこで大きな役割を果たしたのが貸本屋でした。貸本屋の多くは本を入れた大きなふろしきを背負って、得意先をまわり、日にちを決めては本を貸して見料げんりょうをとっていました。江戸後期の天保年間(1830年代)には、江戸市中に800人の貸本屋がいたといわれています。1人の得意先を170軒とすると、約14万軒の読者がいたことになります。



貸本屋『七福神大道伝』

『ビジュアル百科江戸事情
第4巻』より

貸本屋は、都市部だけではなく、町や村にも足をのぼしていました。また、豪農・名主などが自分との蔵書を貸したり、借りた本を写して写本を作って、またそれが貸りられたりということが日常的に行われていました。さらに多くの潜在的読者がいたことになります。

◎ どんな本が読まれていたか

江戸のベストセラーといえ、西鶴の「好色一代男」滝沢馬琴の「南総里見八犬伝」十返舎一九の「東海道中膝栗毛」などがあげられます。また幕末に出た「修紫田舎源氏」は13年間に38編まで出版され、それぞれが1万部以上売れるという超ベストセラーでした。しかし、当時読まれていたのはこれら小説類るいじゅほうばかりではありません。医書「類聚方」、農業全書、数学書「塵劫記」じんこうき

各地の名物名産を記した「名所図会」^{めいしょずえ}、「武鑑」^{ぶかん}*注2、仏書などが長期にわたり多くの人に読み継がれました。他にも百科事典や料理の本、日本の古典、本草学、天文・暦学、四書五経など様々な本が出まわっていました。

◎ 出版文化をささえたもの

なぜこれほど出版がさかんだったのか。それは識字率の高さと日本人の学問好きにあります。当時の識字率は外国人も驚くほど高かったようです。学校は上は幕府の学問所から、藩校、私塾、寺子屋に至るまで各種の教育機関がありました。

明治維新時、わずかの期間に日本の産業・技術が飛躍的發展をとげたのは、このような下地があったからといえるのではないのでしょうか。

<参考文献>

- 江戸の本屋 上・下 鈴木敏夫著 中公新書 1980 (023.9I開架)
江戸の本屋さん 今田洋三著 日本放送出版協会 1977 (023.1I開架)
大江戸えねるぎー事情 石川英輔著 講談社 1990 (浦382.1I76)
事典しらべる江戸時代 林英夫他編 柏書房 2001 (R210.5I開架)
ビジュアルワイド江戸時代館 大石学他編 小学館 2002 (210.5I開架)
別冊歴史読本 12巻1号 1987.1 江戸なんでもランキング (雑誌開架)
大江戸なんでもランキング 中田節子著 小学館 2002 (210.5I開架)
江戸東京博物館展示解説

江戸のハイテク技術者 一天才からくり師田中久重一

からくりぎえもん儀右衛門こと田中久重は、現在の久留米市のべっこう細工屋の長男として生まれ、「機巧図彙」^{きこうずい}*注3をもとに茶運び人形を作ったのはじめに空気砲、無尽灯、万年時計、印籠時計など数々の品を考案、制作しました。これらの品々は当時の限られた材料のもと、非常に精巧に作られており、江戸時代の技術水準の高さを伺い知ることができます。

彼はのちに佐賀藩に招かれ、日本初の木製蒸気船の完成に携わりました。明治維新後、彼が銀座に開いた機械工場「田中製作所」は、今日の東芝の元祖になりました。



茶運び人形 (復元品)

個人蔵

＜ [田中久重]・[からくり] について書かれた資料—熊谷図書館所蔵＞

- からくり儀右衛門 今津健治著 ダイヤモンド社 1992 (289.19開架)
からくり儀右衛門 大坪草二郎著 葦文閣社 1980 (289.19開架)
日本一のからくり師 風巻絃一作 PHP研究所 1989 (児289開架)
二人のからくり師 木暮正夫著 金の星社 1977 (児913開架)
歴史読本 2005年5月 p242～ 科学史の風雲児たち29 田中久重 (雑誌開架)
江戸のからくり夢空間 埼玉県立博物館 1992 (S502開架)
「からくり」の話 中野不二男著 文藝春秋 1993 (BM504開架)
大江戸テクノロジー事情 石川英輔著 講談社 1992 (210.5開架)
シンデレラの時計 角山栄著 ポプラ社 1992 (児11開架)

- *注1 馬琴の1編8冊の合巻が銀1匁8分前後。ちなみに当時の職人の日当は銀3匁であった。
*注2 武家の姓名・紋所・知行高・居城などをまとめたもの
*注3 時計・からくり人形などの部品・構造図と作り方がくわしく書かれた書物。細川半蔵著。寛文8年(1766)刊。

新着資料案内



- ◆ : 日本語図書
- ◆ 事典古代の発明 ピーター・ジェームズ他著 東洋書林 (031.4開架)
骨でできたスケート、銅製の外科用メス、水圧オルガン…。現在、何気なくあるモノ・コトすべての蔭には遠い過去の試行錯誤があった。私たちの暮らしを大きく変えた古代人の叡智を示す、百数十のエピソードを収録。
 - ◆ インターネット図書館青空文庫 野口英司編著 はる書房 (010開架)
著作権の保護期間が過ぎた作家の作品4,843点を所蔵する青空文庫。8年間の経緯、入力・校正ボランティアの思い、著作権の現状と青空文庫との関係をまとめ、改めてその存在意義を問う。
 - ◆ 京都の地名由来辞典 源城政好他編 東京堂出版 (R291.62開架)
日本の古都、京都の歴史と文化を地名の由来から探る。京都市の現行地名を中心に、およそ1,000の地名を選び、場所の特定を行い、地名の由来や史料上の所見、事蹟などについて解説した書。
 - ◆ 十津川水害と北海道移住 蒲田文雄他著 古今書院 (210.17開架)
吉野郡水災誌に記述されている事柄を基軸に、豪雨と山地斜面の崩壊という自然環境のすさまじさや被災者たちの行動、および北海道移住に至る過程を描く。関連する最近の研究成果や防災についても言及する。
 - ◆ 世界をよくする現代思想入門 高田明典著 筑摩書房 (104開架)
「現代思想」によって、「幸福」や「よさ」を追求するための技術を解説し、それが日々の生活の中で使えるようになることを目指す。繰り返して参照するのに便利な「ブックガイド」「キーワード解説」がついている。

- ◆ 武田信玄像の謎 藤本正行著 吉川弘文館 (289.17ヶ開架)
- ◆ 対馬丸ガイドブック 編集工房東洋企画 (210.75ヶ開架)

◇ : 外国語図書 (中国語)

- ◇ 東方時空的日子 [東方時空の日々] 梁建増 / 主編 高等教育出版社 (699.64Do開架)
- ◇ 博士熱愛的算式 [博士の愛した数式] 小川洋子著 王潔訳 麥田出版 (913.6Xiy開架)
- ◇ 苗漢刺繡—老虎変龍— [苗漢刺繡—虎変龍] 王偉光著 芸術家出版社 (594.2Mi開架)

○ : 視聴覚資料 (CD)

- 弦楽四重奏曲全集 / フェリックス・メンデルスゾーン エマーソン弦楽四重奏団 DEUTSCHEGRAMMOPHON (142ヶ開架)
- 五嶋龍 五嶋龍 (バイオリン) DEUTSCHEGRAMMOPHON (132ヶ開架)
- さまよえるオランダ人 : 歌劇 : 全曲 : 3幕のロマンティック・オペラ / リヒャルト・ワーグナー アストリッド・ウェーバー (ソプラノ) BMG ARIOLA CLASSICS (1617開架)
- 平均律クラヴィーア曲集 第2巻 / バッハ ダニエル・パレンボイム (ピアノ) ワーナーミュージック・ジャパン (151ヶ開架)
- ラ・カンパネラ 1973 / フジ子・ヘミング (ピアノ) ユニバーサル・ミュージック (151ヶ開架)

○ : 視聴覚資料 (16ミリ映画フィルム)

* こちらの資料は団体のみの利用となります。4月から貸出予約を受け付けます。

- | | | |
|----------------|------------|------|
| ○ アイ・ラブ・フレンズ | こぶしプロダクション | 113分 |
| ○ 10ぴきのかえる | 東映 | 20分 |
| ○ 10+1ぴきのかえる | 東映 | 20分 |
| ○ KAZU & YAZU | 映画制作委員会 | 95分 |
| ○ ぼくの村にサーカスがきた | 東映 | 14分 |
| ○ ねずみくんのチョコキ | 東映 | 19分 |



お知らせ



* 資料展示のご案内

3月末から2階ロビーにおきまして温泉関係資料の展示を行います。

* 江戸時代の書物の画像がご覧になれます。

県立図書館Webページのトップ ; 貴重書デジタル画像 ; を開いて下さい。熊谷直実こと蓮生の生涯を描いた『熊谷蓮生一代記』文化8 (1811) 年刊や毛呂山出身の医師権田直助の医書『西洋医説弁』安政4 (1857) 年刊など、52点が見られます。